

「2019年3月ダイヤ改正について」提案受ける!

実施日

2019年3月16日(土)

各線区における主な輸送改善

(1) 奥羽本線

- ① 秋田駅～青森駅間に直通快速列車を新規に設定し、利便性向上を図る。
 - ・大館から弘前への各駅停車の最終列車が19時台になるが後続の快速列車が停車しない駅での乗降はほとんどない。
 - ・停車駅は既存の快速列車と同じになる。
- ② 特急「つがる5号」の時刻を見直し、利便性向上を図る。
 - ・19時台に設定した当初に見込んだほどの需要がなかったので新青森から新幹線に接続可能な時間に見直した。
- ③ シャトル列車(津軽新城駅・新青森駅～青森駅間)をワンマン運転とし、効率的な乗務員運用を図る。
- ④ 新庄駅で「つばさ123号」からの接続時間を見直し、利便性向上を図る。
- ⑤ 横堀駅、十文字駅の副本線を使用停止とし、メンテナンス作業の軽減を図る。
 - ・今後、異常時には院内や湯沢で折り返しすることになる。折り返しやスレ違い等いろいろな観点で議論し決定した。

(2) 羽越本線

ご利用の少ない日中時間帯にワンマン列車を増やし、効率的な乗務員運用を図る。

(3) 五能線

ご利用の少ない東能代駅～能代駅間の列車2本を廃止し、輸送力の適正化を図る。

- ・高校や商業団体からの情報を得て需要が多く見込まれるときに予定臨を走らせる。
- ・早めに情報をもらいながら対応していくことになる。

(4) 花輪線

ご利用状況に合わせた輸送体系に見直し、輸送力の適正化を図る。

主な施策概要

乗務員勤務制度についてはNo. 38を見て下さい!

- (1) 新たな乗務員勤務制度の導入にあわせて短時間行路を作成する。

教育訓練計画等

ダイヤ改正に伴う必要な教育訓練を実施する。また、社員に対する必要な説明等を行い、周知を図る。

- ・秋田運輸区や弘前運輸区ではこれまで各駅停車で運転していない区間を乗務してもらうことになる。全員できるかどうかというのはあるが現場とも話し合っ不安のないような対応をしていく。